

科目名称	社会	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期		15
担当教員	小林 忠資	授業に関わる 実務経験	<input type="checkbox"/> 有 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 【1】 授業概要

社会を維持する基盤となるのは、教育とコミュニケーションです。教育とコミュニケーションをとおして、人はさまざまな知識や技術を伝えたり、産み出しています。本授業では、社会のなかで生活をしていくうえで不可欠な行為である教育とコミュニケーションについて学習します。教育とコミュニケーションのスキルは、看護師として働くうえでも求められるものです。

## 【2】 学習目標

1. 相手の発達段階に応じたコミュニケーションをとることができる。
2. 学習の原理にもとづいて指導を設計することができる。
3. 指導において、導入・展開・まとめを活用することができる。
4. 学習意欲を高める工夫を組み込むことができる。
5. コーチングの技法を活用することができる。

## 【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
- 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
- 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

## 【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	イントロダクション	講義・演習
2	人の発達を理解する	講義・演習
3	学習の原理を理解する	講義・演習
4	指導の基本を理解する(1)	講義・演習
5	指導の基本を理解する(2)	講義・演習
6	学習意欲を高める技法	講義・演習
7	コミュニケーションの技法	講義・演習
8	筆記試験(45分間)	

## 【5】 評価方法

1. 授業への参加度 30%、筆記試験 70%

## 【6】 教科書

中井俊樹・小林忠資 編 「看護のための教育学」 医学書院 2015 年

## 【7】 参考書

参考書は指定しない。

## 【8】 受講生へのメッセージ

科目名称	社会	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期		
担当教員	山本 希	授業に関わる 実務経験	<input type="checkbox"/> 有 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 【1】 授業概要

看護者と患者との間柄を、根源的な「自己－他者」関係から哲学的に考察する。

## 【2】 学習目標

1. 「自己の本質」と「ケアの本質」、いずれも他者との関係に根差していることを理解し、説明できる。

## 【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
- 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
- 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

## 【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	イントロダクション	講義
2	「自分」とは何か	講義
3	「語ること」の意味	講義
4	「聴くこと」の意味	講義
5	「他者」の不可知性	講義
6	「自己」の不可知性	講義
7	「ケア」の場を拓く	講義
8	共同作業としての「ケア」	講義
9	「他者」への責任	講義
10	筆記試験 まとめ	

## 【5】 評価方法

1. レポート形式の試験を実施

## 【6】 教科書

教科書は使用しない。適宜プリントを配付する。

## 【7】 参考書

村上靖彦 著 「摘便とお花見 看護の語りの現象学」 医学書院 2013 年  
 鷺田清一 著 「じぶん・この不思議な存在」 講談社現代新書 1996 年

## 【8】 受講生へのメッセージ